

# 野鳥や野生動物に エサをあげないで！

なぜ、野生の生き物にエサをあげてはいけないのでしょうか？

「かわいいからあげる」「かわいそうだからあげる」こんな考えだけでエサを与えるあなたの行動が野鳥や野生動物を苦しめ、まわりの人たちへ迷惑をかけることとなります。



野鳥や野生動物は自然のままの状態にすることが一番幸せです。  
みなさんのご理解ご協力をお願いします。

## あなたの何気ない行動が、野鳥・野生動物を苦しめることになります。

人と野鳥・野生動物がよい関係、よい距離感をもってお互い生きていくためには「可愛いから」「エサをとれずにかわいそうだから」といった安易な考えでエサを与えることは決してよいことではありません。

野鳥・野生動物は、生まれながら自分が生きていくために、自然の中で自然のままのエサを取り、子孫を残していく営みを守ってきています。

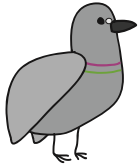
それを人の手で乱していくことは、野鳥・野生動物を苦しめているのではないのでしょうか？

エサやりの行動が野鳥・野生動物にどんな影響をもたらしているか考えてみましょう。

## なぜエサを与えてはいけないのでしょうか？

野鳥や野生動物へのエサやりは、一見ほほえましく生き物を愛護している行動に見えますが、以下のようなことを引き起こしています。

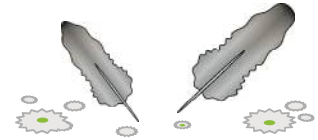
- エサをもらえるので、自分でエサを見つけ、食べることができなくなります。



- 人を怖がらなくなり、人に食べ物をねだったり、ときには襲ってくることもあり、人とのトラブルをおこすと駆除されてしまう場合があります。



- ベランダ・屋上・庭先など人に近いところに来て、フンや羽毛などをまき散らし病気などを誘発する可能性が高まります。

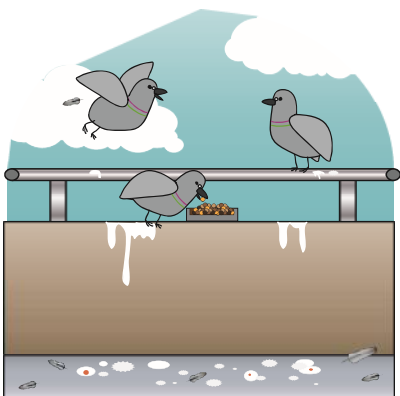
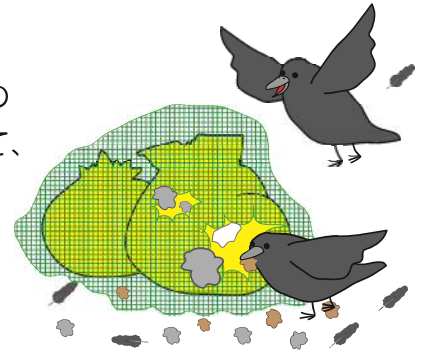


- 人の食べ物には、添加物や油脂など多く含まれており、野鳥や野生動物が食べると栄養過多となり太りすぎや病気になり寿命を短くすることになります。

## 私たちに身近な野鳥を例にとって考えてみましょう。

### • カラス・・・

カラスの繁殖期は年1回とされていますが、エサを与えられると1回の産卵でたくさんの卵を産み、その結果個体数が増えてしまいます。そして、繁殖期に幼鳥を守るために人を威嚇したり、人を怖がらなくなったカラスがゴミステーションを荒らすことになります。



### • ハト・・・

エサを与えられることにより、栄養状態が良くなり、年7～8回の繁殖を繰り返すことになり、個体数が一気に増え、人を怖がらなくなったハトがベランダなど来て営巣し、フン・羽毛などで汚すだけでなく病気やアレルギー疾患などを誘発する可能性が高まります。



### • スズメ・・・

スズメは年2～3回の繁殖期を迎えますが、栄養状態が良くなると繁殖の回数や産卵の数も増える傾向があり、農作物への被害が毎年報告されています。